

労働移民問題

海外旅行者と移民

戦時中エムデン號や潜航艇の跳梁で一時止まつて居た海外旅行熱は、昨年十月以來漸く復活して來た。昨年十二月迄に東京府で旅行券を下附した數が三百三通、此中十月二百八十二通、十一月が二百五十通、十二月が二百七十一通である。旅行先きは北米合衆國最も多く總計百八十人、次は露領亞細亞で百二人、其内浦鹽丈の目的の人が六十七人ある。又米國から歐洲を廻る者が六十三人北米各地巡遊の者が二十四人、玖馬が四人、伯刺西爾が十二人、亞爾然丁が四人、ペリウーが六人墨西哥が五人、智利が二人、英國及米國が十一人である。更に南洋方面では馬尼刺と比律賓が五十八人香港が二十九人、安南が六人、馬來半島が十八人、新嘉坡が四十五人、暹羅が一人である。其他では布哇が二十人、加奈陀が四人、瓜哇が三十六人、印度が十一人ボルネオが二人、セレベスが二人、濠洲が六人、グ

アム島が一人である。而して此等の渡航者は大多數視察、學術研究及び商用で行くものであつて移民は僅に三名である。

内地に於ける朝鮮労働者保護

内地諸工場に使用して居る鮮人労働者は大正六年度に一萬六千人であつたが其後事業勃興と共に漸次増加して來た。然るに休戦と共に各工場又は鑛山にて此等の労働者を解雇せんとする傾向がある。併し若し多數の鮮人失業者を出す場合は公安上憂ふべきことある故當局にては差當り使用出願者に對しては一定の證明書を又現に使用して居る者に對しては労働能率の差異事業の性質等を記入した書類を徴して、是等に關する調査をなし、將來は基礎の堅固なりと認められた者に限り使用を許可する筈である。

山口縣下大島郡海外移民狀

山口縣下の一孤島大島郡は一郡で六 名近くの海外出稼人を出して居る點に於て他に其比を見ない。今其の狀況を見るに左の如き状態である(大正七年末調査)

行先地	人員	同上中途金人數	送金額
布哇	男 三、九〇〇 女 一、五〇〇	九〇	一八三、六四一
米國	男 九、九二 女 一、八四	三六	一四九、一九五
滿洲	男 三、三三 女 二、七	三三	六二、一四〇
比律賓	男 二、七〇 女 五	四	二四、八八五
加奈陀	男 三 女 七	二	二、〇〇〇
秘露	男 二〇	二	一九、九二六
伯刺西	男 五	二	一、六五五
墨西哥	男 三〇	六	一四、七四四
米領カタ	男 二〇	一	五、四〇八
浦鹽	男 三	一	七三〇
濠洲	男 三	一	四三〇

労働移民問題

ニッカラドニヤ	男	計
ニ	二	二
五、七〇〇	一、四七六	二、一九九
七、六	一、七	九、八四

南米伯刺西に於ける日本移民

現在南米には約三萬の邦人が移住して居るが之れ等の移民の行く先きは主として伯刺西 である。其内でもサンパウロ州に行く者が最も多い。元伯刺西では日本移民を最も歓迎して居るのであるが其移民の生活状態如何と云ふに通常珈琲園に雇はれるのであるが、一家族三人ならば五千本の珈琲を栽培すれば樂に生活出来ると云ふ。少し熟練した者には一萬本の栽培は決して困難でない云ふ。五月から十月迄珈琲の世話をして他の時には米綿を間作するのである。之れ故二三年眞面目に働いたならば相當貯蓄も出来、政府から土地の拂下げを受けるとか又は他人から土地を買入れる事も出来る故自作農として立派に生活出来る目下サンパウロ州で鐵道のある所には必ず日本人が町を成して居ると云ふ。總て此等は海外興業會社と森岡移民合資會社の手に依つて取扱はれてゐるのであるが、但し茲に注

意すべき事は、伯刺西行き移民は農夫の外は移民會社で受付けないと云ふ事である。今此等の移民の移住状態を観るに最初は明治四十一年で七百名、次で四十二年に八百名、四十三年に一千五百名、大正元年に三千名、二年に三千名、三年に六千名、四年に三千名、五年は戦争關係で無し、六年に三千名、七年に六千名と云ふ様に渡航して居る。本年は一月に六百名、三月に八百名出て居るが年内には九千名位に達するであらう。而して之を縣別に見ると始めに廣島、熊本の二縣を主として居たが、此頃は全國到る處に及び新潟、長野の如きも随分多くの移民を出し、更に北海道からも本年は既に八十五名出して居る。

南米の移民歓迎

最近我國の南米伯刺西爾行移民は海外興業會社の手によりて取扱はれて居るが、職業は主として米作及珈琲の栽培であつて、其成績は頗る良好である。随つて伯刺西爾政府は我移民を衷心より歓迎し、其奨勵法として渡航者には一人に付九磅宛の旅費を補助することとした。因みに大正七年中我同胞の渡航者は五千三百

九十七人であつて、本年は七千名の豫定である。

新潟縣出稼職工の身體検査

毎年新潟縣下より他府縣への出稼者が出稼地より傳染病を持ち歸る者あつて、從來不測の慘害を惹き起した例もあつた故、本年よりは出稼者の出發前と歸縣後との兩度に於て漏れなく身體検査を行ふことに決定した。尙検査施行期は一月十九日より第一回を始め三十日迄に係官出張の上身體検査を行ふ筈であるが、受檢職工は約三千人位にして、柏崎、安田、北條地方に最も多しと云ふ。

加奈陀移民法改正案

目下英領加奈陀下院に提出中である移民法改正案が可決せられ法律となるに於ては同國への移民禁止範圍は左の如く擴張せられたることになる。

結核病者、慢性アルコール中毒者、精神病者、不具にして自活の見込なき者、威力を以て法律若くは典例の破壊を主張する者、一九一八年十一月十一日後送致されたる敵國人、間諜、英國皇帝若くは聯合國に對する叛逆者、犯罪者、無教育者、

尙同時に政府加奈陀に於ける經濟工業其他の狀況を鑑

み不適當と認むる移民の入國を隨時禁止する廣汎な制限を附與する筈であると云ふ。

獨逸の俘虜釋放と其就職

戰時中青島から浮虜として日本へ送られた獨逸人中には釋放後南洋方面で就職せんと希望する者多く、久留米市收容所にも一千餘名居るが其等の内には染色特許權保有者や電氣工機械工等多く、收容所でも各方面へ照會して就職の世話をして居る。

支那人勞働者の使用禁止

廣島縣田方郡中國製鐵所では昨年末安東縣にて支那苦力二百名を募集し、木炭燒場に使用するの目的で内地へ連れて來たが、支那人勞働者の使用は勅令で禁止してあるので、一月十一日更に旅費を給して募集地に送還した。勅令には但書ありて特別の場合は地方長官の許可を得て使用し得る様になつて居るから、其許可を同縣知事に申請したが、地方長官に對しては不認可の内訓あつたので如何ともし難く遂に元の募集地へ送還したのである。

米國行三等船客の檢疫法改良

米國移民局では從來外國よりの渡航三等船客は健康者不健康者とを問はず全部同局に二十四時間を收容して、其間に眼疾及糞便の検査を行つて居た故、上陸には随分不便が多かつた、今回此檢疫法を改めて三等船客も一二等船客同様船中にて港外檢疫の際に検査し、健康者は入港後即時上陸を許し、病氣の徴候ある者のみ移民局に收容して廿四時間の経過を待ち、異状なきを確めた後上陸せしめ、患者は別に入院治療せしむることとなつた。

海外協會の聯合協議會の新運動

廣島縣海外協會主事長赤木氏は昨年十一月廣島市に於て同協會主催の下に開かれた海外協會聯合協議會の決議に基き外務省に左の事項を請願した（一月廿三日）

一、米國本土及布哇在留者にして從來妻呼寄は入籍六ヶ月を経過せざる者、亦養子呼寄は入籍後五ヶ年を経過せざれば渡航許可せられざる内規を撤廢する事、

米國本土及布哇英領加奈陀方面の渡航期限は從來一ヶ年半の内規なりしを三ヶ年に延長する事、

米國及布哇にて永續的性質の基礎ある事業に従事する者の兄弟の呼寄を可能ならしむる事、

一、領事が發給せる在留證明書紛失の場合は領事より外務省に送達せる證明書發給書のみによりて旅券を下附する事、

各縣海外協會在外支部設立の上は(日本人會所在地にては同會の協賛を得て)邦人在留證明書を與ふる事、

移民協會總會の決議

第一號決議案

(一)本會は人種の差別的待遇の撤廢を期す、(二)右の趣旨貫徹の希望を在佛各糖和委員に傳ふる事を今回渡佛の添田副會頭に委任する事(三)右の主旨貫徹に付き調査委員を設置する事。

第二號決議案

(一)渡外同胞並に在外同胞を教育する事、(二)移民保護法を改正する事、(三)前各項の爲に委員を設くる事、(四)委員は各五名以上となす事。

此の決議案が成立すると直ちに人種撤廢の件を即日牧野男に宛て、打電した。

布哇の邦人米國歸化

米國地方裁判所判事ヴォーン氏は百八十名の日本人義勇兵に市民權を賦與し、米國勞働者の移民局は此判

決を確認した。尙右の外四百名は米國に歸化の手を續なすと云ふ

墨國と日本移民

墨西哥にては日本移民を歓迎して居るのであるが、米國の意向を氣兼して公然と移入を許可して居らぬ。本年二月末邦人が米墨國境を越えて米國に不法入國をした者があつたので米國官憲は直ちに之を投獄したが從來此種犯罪者二百餘名もあるので米國で益々日本移民に對して注意と警戒とを加へる様になつた。

海外興業會社の南米移民

海外興業株式會社にては本年中に六七十人を南米ブラジル、サンパウロ州に移住せしむる豫定であつて、其第一回渡航應募者約六百五十名を一月廿日神戸發博多丸で送つた。此一行中には八丈島より十五家族五十四人の應募者も加はつて居る。今期の移民は従前より少數であるが、其原因は内地勞働者の賃銀高價なるに由るものである。尙第二回は三月中旬出航の讚岐丸で送つたといふ。

東京府に於ける海外移民奨励

勵

四月上旬東京府知事は失業救済海外移民奨励の意味で府下の郡長等を集め海外興業會社々長の神山氏に依頼して南米移民に關する一般的知識に就いて一場の講演を乞ふた。因に東京府下の者で本年一月から四月頃迄に南米に渡航した者は二百人以上あると云ふ。

大阪市内に於ける朝鮮人労働者

働者

大阪市内各警察署へ職業紹介を求めて來る鮮人労働者は近來頗る多くなり、四月上旬には在阪の鮮人労働者は三千人以上に達して居た。彼等が失業に陥るのは僅かの勞銀の差で就職先きを轉々し少しも譬が据らない爲め雇主に信用がないからである。彼等の最も多く居る所は西區四貫島。西野田及九條方面であるが賃銀は大阪鐵工所、住友伸銅所等に勤めて平均壹圓二十錢位、電車道の掃除夫として一日平均一圓位である。

福岡縣に於ける朝鮮人坑夫

六月下旬福岡縣勝野新田山留炭坑、鯉田炭坑及三菱新入炭坑にて鮮人坑夫と内地人坑夫との衝突があつた。三四十人の衝突で大した事もなく直ちに鎮撫されたものであるが元來内鮮人坑夫の衝突はよくある事で大抵は言語の不通に基いて居る。それ故官憲に於ても二十名以上の鮮人を使用して居る所では日曜毎に日本語を修得せしめて居る。賃銀は出來高拂いである故鮮人でもよく働く者は日本人と同様に貰へるが大體に於て作業能率劣り最大限は邦人に比して六割も減じて居る者もある。一般に教育の程度低く本年五月調査によると五千二百二十一名の現在者中四千五百六十三名は全く無教育者であり、且つ又三千九百十七名は全然邦語を知らない者である。其生活程度を見るに一家を構へた者は八百八名で、他の四千四百三名は單獨生活である。生活費は一日四十錢乃至五十錢で充分である故一ヶ月に十七圓乃至廿六圓の貯金が出来ると譯であるが、蓄財心なき爲め多くは飲食に費消してしまつて居る。

最近移民の趨勢

七月三十一日國民新聞に據れば、近時國內一般に景氣良好にして地方農民の生活安易に傾ける結果三人以上の家族移民を獎勵しつゝあるブラジル行移民の募集に甚だしく困難を感せしめる様になつた。海外興業會社がサンパウロ州政府と契約する所は大正六年以降四年間に二萬人を送るべく、又昨年及び本年度は更に年四千人の追加契約があつて茲二ケ年は年九千人を移送する筈であつたが、思はしく捗らず昨年は漸く七千人を送り得たのみであつた。今年はその埋合せの爲め極力募集してゐるが成績はよろしくない。

馬尼拉の本邦移民六千名饑餓に瀕す

八月十一日、横濱開港記念會館の移民講習會事務所へ南洋馬尼ラダーバから同島に於ける本邦移民最近の苦境を報じて來た。馬尼拉に於ては本邦移民で麻栽培を業としてゐる者が約一萬人ある。彼等は戰時に於ては麻一コペー八十錢の高價によつて夥しい金を貯蓄し

たが講和會議の終了と共に麻大暴落をなし一コペー二十五錢となつた。戰時中日給五圓内外の勞銀が當時は二十五錢三十錢となり加ふるに物價は昂騰したので貯金は忽ち喰ひ盡され命からしく歸國する者が續々ある。しかも歸國し得る者はよいが歸るにも旅費無くして取残された六千餘の者は恰も乞食の様に落ぶれて三十錢の日給で營々として働いてゐたと云ふ。

伯國入國特典

大正八年九月一日附、在サンパウロ野田帝國總領事代理よりの報告に依れば聯邦農務長官は同國移民獎勵の目的を以て外國移民の伯刺西爾入國に際し左の特典を與ふる由である。

一、聯邦政府直管移住開墾地(植民地)に労働する移民には左の特典を附與する事。

(イ)目的地附近より更に移住地迄無料にて運送する事(ロ)到着後三日乃至六日分の食料を給與すること(ハ)最初の六ヶ月乃至八ヶ月間一家族中の壯年者一名を毎月十五日宛植民地の道路其の他の勞役に或は請負又は賃銀労働に従事せしめらること(ニ)植民地到着後一ケ年間は罹病の場合藥品及滋養物を無償にて給與すること(ホ)一定の期間内は時々醫師を派遣し且農具苗木種子を無料にて配布すること(ヘ)六歳より十四歳迄の兒童には初等農業教育を授け生活困難なる移民の兒童には無料教科書其他の學校用具を給與

する事(ト)郵便電信等の發送には便宜を提供する事(チ)通譯を通して植民地内に於る諸般の説明報告を與ふる事。

二、植民地の一地區は平均二十五町歩ヘクタール八ミルレイス乃至三十ミルレイス(一ミルレイスは我五十錢に當る)とする地區にして移民用住宅としては小家屋附なるときは該家屋の代價は別に計算する者とす。

三、移民が住宅用家屋を自費にて建築せんとする場合は工事落成を告ぐる迄土地植民局より假宿泊所を貸與す。

四、植民地に入りて三ヶ年の後に至り第一回年賦を納附し五ヶ年若くは八ヶ年間に全部の納入を終るものとす而して全部納入の場合には其地區の所有權を得るものとす。

五、聯邦政府は伯刺西爾に渡來せる外國移民の渡航旅費に相當する金額を還付す但し右旅費は現金を以てせず移民の地區代納付金と差引之を行ふものとす。

六、在伯刺西爾國代表者及移民官は移民として受領すべからざる二等船客が移民の名目の下に伯刺西爾に渡航するを禁ずる爲め相當の方法を講ずべし若し右の移民が伯刺西爾の海港に到着したるときは當該官吏は其上陸を嚴禁し又右移民を搭載せる汽船會社は之を送還するの責に任ずるものとす。

愛知縣の出稼人

十月の調査によれば愛知縣人として海外へ出稼中の者の數は男女合計八百六十一名にして彼等の内地への送金年額約三十萬圓餘に達すると云ふ。

海外移民の減少

十一月三日中外商業新報所報によれば内地商工業の勃興につれて一般海外移民は頓に其數を減じ、殊に年

々盛況に向つて居た南米移民の如きも著しく其影響を受けたと云ふ。例へば單獨移民の自由を有するペリユに於ても大正七年度渡航者一千六百名以上であつたのに本年は漸く一千二百三名内外に止まり前年に比して二割以上の減少を來たし、又家族移民制によるブラジルの如きに到つては七年度の五千五百餘名に對し今年度は二千五百名内外で約五割減の状況である。歐洲戰亂後南米に對して歐洲各國移民杜絶した爲め我國よりの移民は非常なる歓迎を受け相當な地歩を占めつゝあつたのであるが、戰後内地工業界の好況に支配され我國よりの渡航者數も亦次第に減少したのである。

日本移民と其出生率

十二月上旬米國加州衛生局の發表する所に據れば現在加州にある。日本人の總數は七萬四百四十四人で、其出生率は人口千人に付六十人である。之に反して同州内白人の出生率は千人に就き僅に十七人である。

南米大陸の一部に日本移民排斥

十二月中旬南米の一部に日本移民排斥の運動が起きたとの風説があつた。其排斥理由の重なるものは次の四項であると云ふ。

- (一) 日本人は人口増殖の天才なり。
- (二) 日本人は南米人と雜婚し、混血兒を多數出生す。
- (三) 日本人は重要都市に到る所に商業と銀行とを有す。
- (四) 日本人の南米に於て優越なる事は南米の友邦の不利益となる。